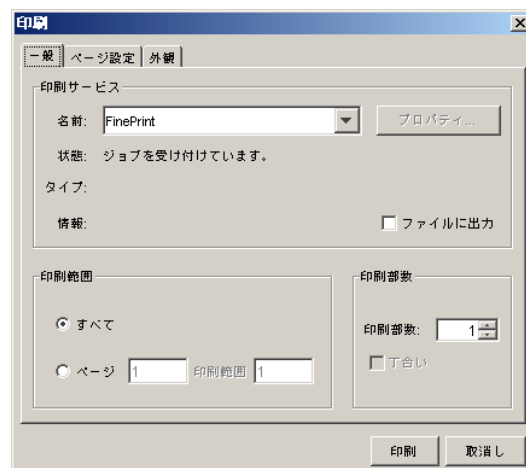


## 第 2 回授業 実習課題

### 1. TypeQuick レッスン状況の確認【全員】

- TypeQuick を起動してください。
- メインメニューの「レッスン成績」をクリックし、これまでの練習結果を印刷表示してください。「印刷」をクリックし、FinePrint を起動します(右図)。「印刷して閉じる」を選択してこれまでのレッスン状況を印刷します。プリンタに出力された印刷結果には学習者名が表示されていますので、自分のものを回収し、学籍番号を書いて提出してください。
- TypeQuick の自己評価レポートを記入して提出してください。デスクトップ上に Word のテンプレートが配布されますので、テンプレートをダブルクリックして開き、記入します。記入が終わったら、印刷して提出してください。



### 2. 文字入力練習課題【TQ のみの人を除く】

- デスクトップにあるアイコン(右図)をダブルクリックして、Internet Explorer を起動してください。
- ツールバーの「アドレス」に、半角(IME を英数字入力モードにする)で [http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit\\_r/input1.html](http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit_r/input1.html) と入力し、Enter キーを押してください。http://は http の後に「コロン」と「スラッシュ(2つ)」、reitaku-u の-は「ハイフン」、~schiba の~は「ティルダ(ティルデ) tilde」、lit\_r の\_は「アンダーバー」です。点は全て「ピリオド(ドット)」です(「コロン」ではありません)。正確に入力できると、「文字入力の練習問題」が開きます。
- では、解答していきましょう。各項目の解答欄をマウスでクリックし、指定された文字を入力して、「解答チェック」ボタンをクリックしてください。
- **全ての入力ができたら、教師(または TA)のチェックを受けてください。** チェックが終わったら、実習課題(3.)にとりかかりましょう。



### 3. 日本語入力実習課題【TQ のみの人を除く】

- 「メモ帳」を起動してください。[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]→[アクセサリ]を開いて、[メモ帳]をクリックすると起動します。
- メモ帳に、まずあなたの学籍番号と、名前を入力します。学籍番号は**半角**で入力します。入力が終わったら、Enter キーを押して改行します。
- 次のテキストを入力します。**[改行]**というマークが入っているところで、Enter キーを押して改行してください。  
 ヒント:「メモ帳」のメニューバーの「書式」→「右端で折り返す」をチェックすると、テキストが「メモ帳」の右端までくると自動的に折り返して表示されます(改行が入るわけではありません。チェックを外すと、再び横 1 行で表示されます)。

あなたの学籍番号 あなたの名前 **[改行]**  
**[改行]**  
 ソフトの親方(坂村健『痛快! コンピュータ学』集英社刊より) **[改行]**  
**[改行]**  
 コンピュータにとって、ハードウェアとソフトウェア(プログラム)は車の両輪のように

大事なものであることは、すでに皆さんはよくご存じでしょう。実際のコンピュータにおいてはプログラムは大きく 2 つの種類に分けられます。[改行]

[改行]

1 つは基本ソフトウェアであり、もう 1 つが応用ソフトウェアです。コンピュータの世界では、前者を OS (オペレーティング・システム) と呼び、後者をアプリケーションと言います。[改行]

[改行]

具体的な例で言えば、マイクロソフトの「ウィンドウズ」や、話題になっていた Linux といったソフトは OS であり、ワープロや表計算、あるいはゲームのソフトなどはアプリケーションの仲間です。[改行]

- 入力が終わったら、メニューバーの「ファイル」から「名前をつけて保存」を選択し、テキストを保存します。保存する場所に 'file\_server' の [user-id] (X:) を選び、ファイル名には半角で text1 と入力し、「保存」ボタンをクリックします。これで、今入力されたテキストは、text1 という名前の「ファイル」として、file\_server の [user-id] という場所に保存されました。(タイトルバーの左端に、「無題」の代わりに、ちゃんとファイル名が表示されているのが分かりますか?)
- 以下のテキストを、先ほど入力したテキストに続けて入力してください。( [改行] の印は省略しましたが、分かりますね?)

パソコンにかぎらず、たいていのコンピュータには、OS とアプリケーションの区別があります。OS とアプリケーションは、それぞれ単独ではモノの役に立ちません。この 2 種類のソフトウェアが揃ってはじめて使いものになるのです。

OS とはコンピュータを利用するうえで、基本的に必要な機能をまとめたソフトウェアのことを言います。

例えばキーボードを使って、文字を入力する。あるいは整理したデータをハード・ディスクなどに記録する。また、プリンターを使って印刷する……こうした「入力」や「出力」の処理は、およそどんな作業でも必要なことです。

アプリケーション・ソフトウェアを作ろうとするとき、もし OS がなければ、こうした基本的な処理もそれぞれのアプリケーション側で行わなければなりません。これはあまりにも手間のかかることだし、労力の無駄になることは言うまでもありません。そこで、こうした機能を最初からプログラムとしてまとめておいたのが OS なのです。OS があれば、アプリケーションの開発はずっと楽になります。

- 入力が終わったら、メニューバーの「ファイル」から「上書き保存」を選んで、保存してあるファイルの内容を更新します。  
ヒント: 「上書き保存」をするには、メニューバーを使うほかに、[Ctrl] + [s] というショートカットキーを使う方法があります。慣れるとこの方法のほうが便利ですよ。
- **上書き保存ができたなら、教師(または TA)にチェックを受けてください。**これで今日の課題はおしまいです。お疲れさま。TypeQuick を自習しましょう。